

## 放射能から子供と町民の

## 健康を守りましょう

常山知子議員は、3月議会会で放射能問題について質問しました。

町当局の答弁は「毎時0.23マイクロシーベルト以上の高い数値のところは除染を行う、しかし民有地については個人で対応してください」ということでした。

常山議員は再質問を行い、私有地についても町当局としての対応を考えるよう要請しました。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

今のところ皆野町では私有地内の放射線の測定依頼は100件程にとどまっていますが、放射能汚染というのは目で見てわかるものでもなく、測定して初めて判るものです。また今後とも変化する可能性があるので、これに対する対応を個人に押し付けるのは正しくありません。

### 東京電力と政府の責任

もともと今回の原子力災害は、東京電力と政府の責任で引き起こされたものです。全ての町民は何かしらの賠償請求権をもっていますが、東京電力はそれを忘れ

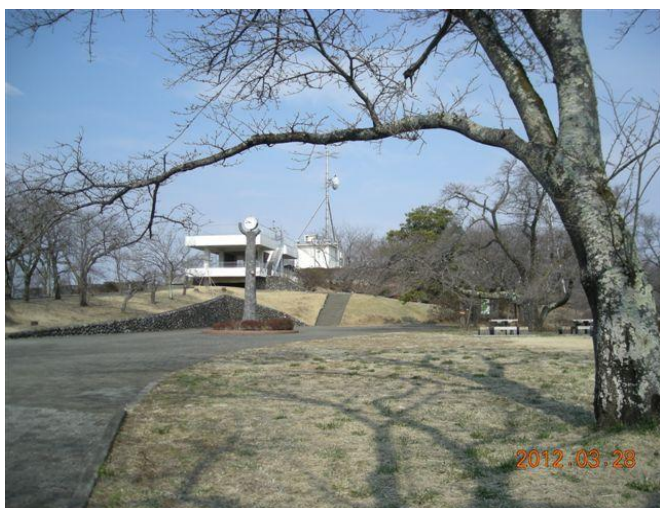
て、災害復旧費用を値上げでまかなおうとしています。

町当局は町民の立場に立って、安全と生活の擁護のために、県当局と連携して働かなければならないはずで

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

常山知子議員は美の山の頂上の放射線測定と除染についても要請しました。

これは埼玉県が今年1月に行った測定とそれにもとづく処置について問うものでしたが、美の山は県の管轄であるという理由で、測定結果についても、また除



染するかどうかについても町の回答は得られませんでした。

### 美の山頂上の放射線量

下表左側は県のホームページに掲載されている測定結果の一部です。右側に今回当編集部員が計測した値を対照して示しました。

見てわかるように、県の発表データは高さ50cmでの値がほとんどで、低い値になっています。当編集部員が計測した値では高さ1cm(地表面)で高い値が計測されており、この値が2倍になると県の除染の基準の1マイクロシーベルトを超えるところが出てくることになります。

このような場所は「雨どい下」などと表現されていますが、芝生の生えた開けた広場の一角であり、子供達が転がり遊んでいて不思議のない場所です。埃を吸い込んだ子供達が内部被曝することのないように、

### 町として除染をすべき

ではないでしょうか。内部被曝は外部被曝の数百倍の影響があ

ると言われ、特に放射能の子供への影響は深刻だとされています  
(編集部 K)

#### 県・測定値

(測定日 平成24年1月17日)

測定箇所	測定値 ( $\mu\text{Sv/h}$ )	高さ (cm)
雨どい下	0.106	50
集水マス	0.080	50
雨どい下	0.095	50
芝生	0.059	1

#### みんなの民報・測定値 (機種PA-1000)

(測定日 平成24年3月27日)

測定値 ( $\mu\text{Sv/h}$ )	高さ (cm)	測定値 ( $\mu\text{Sv/h}$ )	高さ (cm)
0.115	50	0.620	1
0.096	50	0.288	1
0.086	50	0.363	1
		0.052	1